

Liberal & Democratic 自由民主党 蒲郡市議団通信

vol.012



おおば やすのり
団長 **大場 康議**



市民の皆様におかれましては、昨年末より中国・武漢発の新型コロナウイルス感染拡大が全世界にパンデミックとして猛威を振るう中、日本はもとより蒲郡においても、市民の日常生活や地域経済に大打撃を与えております。私共、自由民主党蒲郡市議団では4月に緊急に【新型コロナウイルス感染症対策についての要望書】を蒲郡市に提出しました。

市民の生命・健康・市民生活・地域経済・医療体制・医療従事者を守るため、緊急対策基金の創設と十分な財源確保を要望しました。基金の財源においては蒲郡モーターボート事業会計からの繰り入れを活用し、未曾有の危機に対応してほしい旨を提案致しました。

市側の対応は、早々にモーターボート事業会計からの繰入金を活用した基金条例の創設に着手し、市民生活の支援、事業所向け支援、子どもの学習・生活支援、市税等の減免、徴収の猶予、融資・貸付等様々な市独自のメニューも作成し、現在市民に向け広報・回覧で周知活動を行っております。自由民主蒲郡市議団は、今後もコロナと対峙しながら、市民生活を守っていくまちづくりを提案して参ります。

あおやま よしあき
幹事長 **青山 義明**



令和2年度も自民党蒲郡市議団の幹事長を引き続き努めさせて頂くこととなりました。また、蒲郡市議会の役職におきましても続けて議会運営委員長を務めさせて頂きます。

コロナ禍の中、市民の幸せ第一を考え議会運営を司って参りますので、よろしくお願ひ申し上げます。また、6月議会一般質問におきましては、1、ゴミ問題について2、蒲郡環状線の状況について3、豊川用水の漏水問題について4、上ノ郷城跡の状況と今後についての4つの質問をさせて頂きました。

詳細につきましては、今後配布されます、蒲郡市議会便り・青山義明市政報告や蒲郡市ホームページをご覧ください。コロナ禍の大変な中、蒲郡市と共に蒲郡市民の幸せ第一に考え頑張つてまいります。

たけうち しげやす
政調会長 **竹内 滋泰**



今回「蒲郡市民病院の安定経営について」の質問なので、令和元年度の決算見込みが、平成9年に移転開設以来初めて、2億2600万円の赤字となりました。そして、「再生医療の現状について」の質問に対する回答は下記の通りです。

白斑に対する再生医療は、平成31年3月に名古屋市立大学病院と市の共同研究として実施できる体制となり、令和4年3月までに当院において6例の実施を目標としているが、当院での再生医療の提供には至っていない。引き続き、特定認定再生医療委員会による提供計画の審議と、医療機関としての再生医療の提供の2つ行えるよう、努力を重ねていく。また、白斑以外にも保険機関収載がされている膝軟骨の再生医療(ジャック)の実施も悲願であります。保険適用として施設基準を満たせるよう、膝関節手術の件数を増やしておりますが、自由診療としての適用も検討していきたいと考えている。

おおす か はやし
副幹事長 **大須賀 林**



第四次蒲郡市総合計画では狭あい道路整備推進がうたわれていますがその対策は遅々として進んでおりません。計画期間10年の最終年となり、どれだけ進んだかを一般質問しました。特に問題にしたのは二項道路といわれている、家を建てる際に道路後退(セットバック)が必要となる狭い道のことで、これが市内で100km程あり、解消に向けた対策が急務であります。といいますが、喫緊に迫った南海トラフ地震や火災、台風等災害時に消防車や救急車が入っていけない恐れがあるからであります。市の回答は狭あい道路解消は大きな問題と認識しており、道路後退部分の取得支援を含め方向性を出していくというものでした。

昔からの家並みがある、密集市街地のようなところ程対策が必要であると考えます。今までのように、後退用地を寄附するもしないも土地所有者の任意である、という市の受け身の姿勢から積極策に方針転換して、目的を果たすべきであります。

おおむかい まさよし
副議長 **大向 正義**



この度、第69代蒲郡市議会副議長に就任いたしました。私は、蒲郡市議会憲章「私たちは、日々新たに、市民の負託に応え、市民と共に語り、市民と共に動き、市民のしあわせと地域の発展を目指して行動することを宣言する。」を尊重し、議長を補佐して議会運営を図ります。

新型コロナウイルスは、少し終息しつつありますが、第二波が待ち受けています。『井の中の蛙は、井の外に虚像をもたなければ、井の中にあること自体が、井の外とつながっている』という格言があります。私は、来るべきコロナ後の世界の実像を想像して、行政の監視的確な政策立案を図り、地域の発展を目指していきます。

感染症と自然災害の複合災害は、「3密」回避のため避難所の収容人員が半減します。そのため、車中泊やテント泊ができる広域防災公園と、それに隣接した防災拠点としての総合体育館の建設が急務です。

市民の健康と命を守るためには、市民病院の医療センター化が必要です。

よびた たかひろ
東三河広域連合議会
みらい広域委員会委員長 **喚田 孝博**



今回の一般質問では、(1)「学校教育について」、コロナ禍における子どもたちの学習の遅れが懸念されていることから、授業時間数の確保をどのようにするのか。GIGAスクール構想の実現に向けた取り組みはどうか。放課後子供教室等の実施に向けて地域との連携協働を進めていく必要があり、コミュニティスクールへの取り組みについて質疑しました。(2)「開発許可制度の権限移譲について」は、今後のまちづくりの基本計画となる「立地適正化計画」を昨年策定したことや、都市計画マスタープランの改訂を見据え、開発許可の権限を現在の県から市に権限移譲を進めることにより迅速に事務の対応ができるように当局の考えを質しました。(3)「国土強靱化地域計画の策定について」は、想定される自然災害のみならず、今般の新型コロナウイルスのような感染症も災害に位置付けて検討する必要があるものと考え、審議会の中でも議論をするべきものと提言させていただきました。

すずき まさひろ
経済委員会 副委員長 **鈴木 将浩**



令和2年度となり、経済委員会の副委員長を拝命することになりました。本年度は第五次蒲郡市総合計画や、小中学校規模適正化方針など、今後の蒲郡市の施策を左右する非常に重要な計画策定が多くあります。蒲郡市の将来の人口や産業、社会情勢などを考え、未来の蒲郡をどうすべきかに頭を悩ませながら、行政へも訴えていきたいと思っております。

6月定例会では「緊急事態時における情報発信とIT活用」について一般質問を行いました。緊急時のホームページやSNSを利用した情報発信の仕方、本年度小中学校への配備が決定したタブレットの活用、蒲郡市のIT推進の取り組みについて確認・提言をさせていただきました。

今回の新型コロナウイルス感染症により、改善すべき点が浮き彫りになった面もあります。第二波はもちろん、自然災害等を含めて、市民のみならず安心と安全を確保できるように、引き続き取り組んで参ります。

オンライン市政報告会のご案内 2020年8月2日(日)13:00開始

※パソコン・スマホから簡単に参加可能。ZOOMのアプリを事前にダウンロードお願いします。 ID: 856 3644 6304 パスワード: gamagori

詳しい登録・利用方法は、
ホームページをご覧ください。
<https://gamagorijimin.jp/>

